

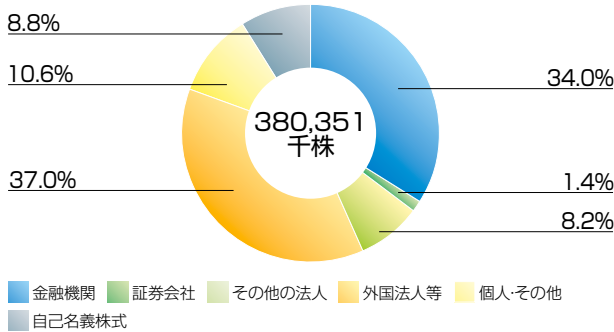
株主・投資家との対話

株主・投資家の皆様からの信頼と期待に着実に応えていくために積極的な対話と適時・適正・適切な情報開示に努めています。

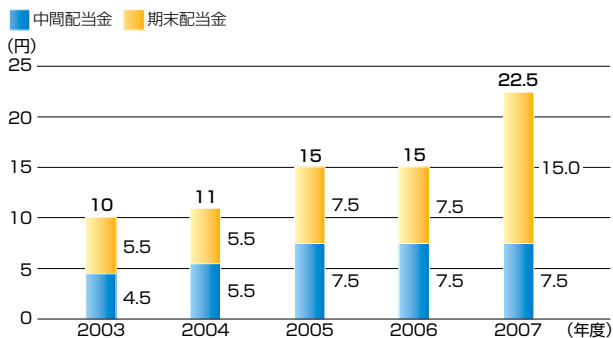
利益還元方針

シチズンホールディングスは、当期純利益に対する配当および自己株式取得の合計額の比率を「株主還元性向」とし、2005年度以降、3～5年間平均の比率を30%以上とすることとしています。この方針のもと、配当は、連結業績の連動と安定配当のバランスを勘案して決定しています。また、自己株式取得については、一株あたり利益の増加による株主還元とともに、資本効率の向上をめざしています。

所有者別株式分布 (2008年3月31日現在)



1株あたり配当金の推移



情報開示とIR活動

WEB IR情報 <http://www.citizen.co.jp/ir/index.html>

シチズンホールディングスは、株主・投資家の皆様との日々の対話が、株主構成の裾野を広げ、企業価値にふさわしい株価形成につながると考え、株主・投資家の意思決定に必要な信頼性の高い情報を適時・適正・適切に開示するよう努めています。

IR活動では、情報ニーズの把握と対話を重視しており、年4回の決算発表と決算説明会をはじめ、個別ミーティング、工場見学会、IRイベントや証券会社で行われるカンファレンスへの

参加など、コミュニケーションの機会を増やしています。また、シチズングループの理解度向上やご要望に応じた適切な説明ができるよう、自社のWEBサイトや説明会資料の整備、内容充実にも取り組んでいます。2007年度は、純粋持株会社制への移行に伴い、新体制の目的や今後の事業展開などについて、正しくご理解いただくよう努めました。

開かれた株主総会

シチズンホールディングスは、定時株主総会により多くの株主の皆様に参加していただけるよう、集中日を避け、収容人数や交通アクセスに配慮して会場を決定しています。

2007年6月の総会には312名(前年比153名増)の株主の皆様に参加いただきました。また、2007年の総会から、議決権を行使しやすいよう、機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームを利用可能としました。さらに、シチズングループにより親しんでいただけるよう、パネルを使った製品展示を行うとともに直接対話の場も設けました。

今後も、多くの株主の皆様が参加でき、意見や質問をいただきやすい仕組みづくり、スムーズな運営などを心がけていきます。



株主総会の様子

外部機関からの評価

シチズンホールディングスは、2004年から4年連続で、ベルギーのSRI(社会的責任投資)評価機関であるエティベル社の「エティベル・サステナビリティ・インデックス」に選ばれています。

また、財務内容については、2008年3月現在、ムーディーズ社から「A2」(信用力が高く、信用リスクが極めて低いと判断される債務に対する格付け)を取得しています。

